

授業科目名	家族看護論	担当教員	教授 准教授 講師	若崎淳子・橋本龍樹 秋鹿都子・加藤真紀・橋本美幸 土江梨奈
開講年次及び学期	4年 後期	必修・選択の別	選択	
開講形態	講義	時間数	30	単位数 2
授業の目的(概要)				
看護学における家族を理解するための諸理論を学び、看護の対象としての家族について理解を深め、家族看護の実践に向けて臨床や地域等の現場における家族支援のあり方を学ぶ。				
学修成果(到達目標)				
<ol style="list-style-type: none"> 1.家族看護で用いる理論を概観し、看護の対象としての家族について理解を深め、説明できる。 2.実践に向けて、周産期における家族への支援について説明できる。 3.実践に向けて、病気や障がいをもつ子どもの家族への支援について説明できる。 4.実践に向けて、病をもつ高齢者の家族への支援について説明できる。 5.実践に向けて、がん患者の家族への支援について説明できる。 6.実践に向けて、学校における子どもと家族への支援について説明できる。 7.家族に寄り添うということを理解し、家族支援について説明できる。 8.家族に関する事例の記述や検討・討議を通じて、理論(科学的根拠)と事例を統合できる。 				
キーワード				
家族看護・周産期と家族・小児期と家族・高齢者と家族・学校と家族・がん患者と家族・看護理論				
授業の進め方				
・Webexによるライブ講義およびオンデマンド型講義を併用して実施する。				
成績評価の方法(合否基準)				
・Moodle上に提出する理解確認ペーパー(40%)、課題レポート(60%)により評価します。				
教科書・参考書・視聴覚・その他の教材				
[教科書] 指定なし				
[参考書]				
<ol style="list-style-type: none"> 1.上別府圭子他:系統看護学講座別巻 家族看護学、医学書院、最新版。 2.鈴木和子、渡辺裕子:家族看護学—理論と実践 第3版、日本看護協会出版会、2006。 3.山崎あけみ、原礼子:家族看護学第2版、南江堂、2015。 4.その他:必要に応じて授業の中で紹介する。 				
オフィスアワー				
事前のメールによるアポイントメントにより適宜対応する。				
各単元担当者に連絡をお願いします。				
モデル・コア・カリキュラムとの関連				
A-1 プロフェッショナルリズム				
A-1-1)看護職としての使命、役割と責務				
A-1-2)看護の基盤となる基本的人権の理解と擁護				
A-2 看護学の知識と看護実践				
A-2-2)看護実践能力				
A-3 根拠に基づいた課題対応能力				
A-3-1)課題対応能力				
A-4 コミュニケーション能力				
A-4-1)コミュニケーションと支援における相互の関係性				
A-5 保健・医療・福祉における協働				
A-5-1)保健・医療・福祉における協働				

- A-6 ケアの質と安全の管理
 - A-6-1)ケアの質の保証
 - A-6-2)安全性の管理
- A-7 社会から求められる看護の役割の拡大
 - A-7-2)保健・医療・福祉等の多様な場における看護職の役割
- A-8 科学的探究
 - A-8-1)看護学における研究の必要性・意義
- A-9 生涯にわたって研鑽し続ける姿勢
 - A-9-1)自己研鑽の必要性和方法
- B-1 人々の暮らしを支える地域や文化
- B-2 社会システムと看護
 - B-2-1)健康の概念
 - B-2-2)環境と健康
 - B-2-3)生活・ライフスタイルと健康との関連
 - B-2-5)社会の動向と保健・医療・福祉制度
- B-3 社会における看護職の役割と責任
 - B-3-1)看護職の法的位置付け
 - B-3-2)看護における倫理
- C-1 看護学に基づいた基本的な考え方
 - C-1-1)看護の本質
 - C-1-3)看護の観点から捉える人間
- C-2 生活者としての人間理解
 - C-2-1)人間にとっての生活
 - C-2-2)個人と生活
 - C-2-3)生活環境としての場
 - C-2-4)地域社会における生活者
- C-3 生物学的に共通する身体的・精神的な側面の人間理解
 - C-3-3)生命誕生、成長・発達と加齢、ヒトの死
- C-5 健康障害や治療に伴う人間の身体的・精神的反応の理解
 - C-5-1)病(やまい)に対する人間の反応
 - C-5-3)主な健康障害と人間の反応
- D-1 看護過程展開の基本
 - D-1-1)看護の基礎となる対人関係の形成
 - D-1-2)多面的なアセスメントと対象者の経験や望み(意向)に沿ったニーズ把握
 - D-1-3)計画立案
- D-2 基本的な看護技術
 - D-2-3)日常生活の援助技術
- D-3 発達段階に特徴づけられる看護実践
 - D-3-1)周産期にある人々に対する看護実践
 - D-3-2)小児期にある人々に対する看護実践
 - D-3-3)成人期にある人々に対する看護実践
 - D-3-3)老年期にある人々に対する看護実践
- D-4 健康の段階に応じた看護実践
 - D-4-1)予防が必要な人々に対する看護実践
 - D-4-2)急性期にある人々に対する看護実践
 - D-4-4)慢性期にある人々に対する看護実践
- D-5 心のケアが必要な人々への看護実践
- D-6 組織における看護の役割
 - D-6-1)組織における看護活動
 - D-6-2)リスクマネジメント
 - D-6-3)保健・医療・福祉チームにおける連携と協働
- E-1 多様な場の特性に応じた看護
 - E-1-1)多様な場の特性
 - E-1-2)多様な場に応じた看護実践
- G-2 看護学研究を通じた看護実践の探究
 - G-2-1)看護実践の探究
 - G-2-2)研究成果の活用方法

授業計画

回	日程	時間	場所	実施方式	テーマ	授業内容	担当者
1	10月5日(月)	16:50~ 18:30	第4実習室	ライブまたは オンデマンド	健康問題を持つ子どもの家族の支援	健康問題を持つ子どもの家族の支援 その1	秋鹿
2	10月13日(火)	13:00~ 14:40	"	Webex ライブ	周産期における家族への支援	周産期における家族への支援 その1	橋本美
3	10月20日(火)	16:50~ 18:30	"	ライブまたは オンデマンド	健康問題を持つ子どもの家族の支援	健康問題を持つ子どもの家族の支援 その2	秋鹿
4	10月22日(木)	13:00~ 14:40	"	Webex ライブ	周産期における家族への支援	周産期における家族への支援 その2	橋本美
5	10月23日(金)	16:50~ 18:30	"	ライブまたは オンデマンド	健康問題を持つ子どもの家族の支援	健康問題を持つ子どもの家族の支援 その3	秋鹿
6	11月6日(金)	14:55~ 16:35	"	Webex ライブ	在宅療養と家族	緩和ケアにおける在宅療養支援と地域連携	若崎・秋鹿
7	11月13日(金)	16:50~ 18:30	"	Webex ライブ	高齢者と家族	病をもつ高齢者と家族支援	加藤
8	11月19日(木)	8:30~ 10:10	"	ライブまたは オンデマンド	家族看護概論	家族看護とは:概論	若崎
9	11月19日(木)	10:25~ 12:05	"	ライブまたは オンデマンド	治療過程に在るがん患者の家族看護	治療過程に在るがん患者の家族の理解と支援	若崎
10	11月19日(木)	13:00~ 14:40	"	オンデマンド	学校と家族看護	学校における子どもへの支援と家族看護 その1	土江
11	12月3日(木)	13:00~ 14:40	"	オンデマンド	学校と家族看護	学校における子どもへの支援と家族看護 その2	土江
12	12月10日(木)	13:00~ 14:40	"	オンデマンド	学校と家族看護	学校における子どもへの支援と家族看護 その3	土江
13	12月11日(金)	16:50~ 18:30	"	オンデマンド	家族に寄り添う	家族に寄り添うとは その1	橋本龍
14	12月18日(金)	16:50~ 18:30	"	オンデマンド	家族に寄り添う	家族に寄り添うとは その2 / まとめ	橋本龍

備考

※担当者の都合や授業展開により時間変更や実施方式の変更あり。その場合には、担当者から連絡する。